

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	愛知県一宮市			代表者名	中野 正康
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部情報システム課	連絡先電話番号	0586-28-8670
担当者役職	主査	担当者氏名	山田 有里	連絡先E-mail	
住所	491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	ICTマネージャー向けグループワーク
概要	若手管理職向けに、デジタル技術を活用した政策立案とその課題解決のグループワークを行い、その過程でアドバイザーからの専門的な助言、指摘を受けることで行政のDXを推進する。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年9月4日	講演(実地)	13時00分	17時15分	10
				活動時間（分）	245
2-2.	会場名	一宮市役所	最寄駅	尾張一宮駅	
派遣場所	所在地	愛知県一宮市本町2丁目5番6号	最寄駅からの交通手段	徒歩5分	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	鈴木 昌幸
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	政策形成（グループワーク）で、取り上げたテーマに関連する企業の担当者を招いていただき、実際の政策形成においてどう地域の実情を取り入れるか、根拠をどう繋げていくかの手法を学ぶことができた点。
アドバイザーへの要望事項	

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	21人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	21			

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	職員全体にDXを推進する風土が十分に広がっているとは言えない状況である。業務の効率化、市民サービスの向上、課題解決のためには、デジタル技術、データを積極的に活用していかなければならないが、現状その環境は整っていない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	管理職自らがデジタル技術を活用する視点を持ち情報収集や提案ができ、部下からの提案の有効性を判断できるようになることで、デジタル技術の導入を積極的に推進する風土を醸成し、時間や場所に制約を受けない手続きといったような市民サービスの利便性向上や、内部システムの効率化によってヒューマンリソースをデジタルデバインド解消に割くことを目標とする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	一宮市が掲げる総合戦略からグループテーマを決定し、他自治体と比べた時に見えてくる一宮市の特徴を捉え魅力発信を想定した資料作成と発表、質疑応答を行った。また、グループテーマの一部に関する民間企業担当者を招いていただき、実情を聞く、意見交換をすることや、どうつながりを作っていくかを学ぶことができた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多角的なものの見方と期限を切った考え方、また部下がやる気を損なわない指導方法のヒントを得られた。</li> <li>• 参加者の窓口業務では、書かないワンストップ窓口を推進及び充実させるべく課題を抱えており、今回の研修で学んだ手法を活かし、他の自治体はどうか？民間はどうか？きっかけとなる課題はないか？など、複数の側面に目を向けたやり方で、部下や現場の意見も大いに取り込みながら最善策を考えるヒントが得られた。</li> <li>• 一宮市内の新築住宅の延べ床面積が広いことに注目して、環境・社会・経済の3側面から相乗効果の創出、トレードオフの緩和について考えました。きっかけを(仮)新濃尾大橋、一宮西港道路、名岐道路の完成と定めて子育て世帯に選ばれるまちづくり(定住・転入促進)を考えました。その中でエサキホームのタケナカ氏から、小牧市は行政が転入者を呼び込もうとしている姿勢が見えて顧客に勤めやすいとの話がありました。小牧市移住支援事業費補助金も大きいですが、市のWebサイトで定住をアピールしているだけでも説得力があるとのこと。また、犬山市は小学校2学期制にして、多子世帯の子育て支援を充実させているとのこと。民間事業者によると一宮市のポテンシャルは交通の利便性や住みやすさでこの2市を上回っていて今後に期待しているとのこと。行政の姿勢の見せ方も大切だと気付かされました。</li> <li>住居、空き家・空地問題をDX化し流動性を高めるだとか、子育て支援アプリの充実なども有効な施策であると気付かされました。ステークホルダーとのコミュニケーションは今後も大切にしていきたいと思います。</li> <li>• 補助金申請にかかる書類について、煩雑になりそうな状況をまとめることができそう。</li> <li>• 参加者の業務で、市内の浄化槽を管理する台帳のデジタル化を進めていますが、全てを完全にデジタル化するのではなく、状況に応じてアナログなものと共存させていこうと考えます。</li> <li>• インフラ整備には多額の歳出予算が必要で、予算獲得のためのヒントをいただいたので、『いつに何が』というようなことで説明をしていきたい。</li> <li>• ワークシートの作成を通して、新たなことを考える時、「見せ方」によって受け手にとって変わることを実感しました。</li> <li>• 同規模他団体のデータ収集方法。</li> <li>• エビデンスがしっかりした事業は、事業の方向づけ、修正が容易になることがわかりました。次の総合計画が令和10年から始まりますが、その準備として今回の研修で得たEBPMへの理解、他分野連携成長、きっかけを活かす施策構築などを活かしていきたいです。</li> <li>• 住民情報システムの標準化や書かない窓口の改修などデジタル関連の動きが多くありますが、このきっかけを研修で学んだことを活かして窓口サービスの向上につなげていきたい。</li> <li>• 働き手が不足するなか当市にどうやったら人が集まるのかを事業をやっていく上で必要だとわかった。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	同規模他団体のデータ収集方法。台帳のデジタル化を進めるうえで、全てを完全にデジタル化するのではなく、状況に応じてアナログと共存させる意義。組織として、最善策をどう考えるか、進めるかを学べた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者16名中、満足度は4段階で「④とても満足」が9名、「③満足」が7名、理解度は5段階で「⑤よく」が4名、「④概ね」が7名、「③ある程度」が5名と、高い満足度、理解度となった。講師から、課題解決や政策立案の実例、具体的な手法を講義いただき参加者が実務に活かせると感じた結果だと思われる。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	具体的な政策立案をとおして、各課が抱える課題の解決、市民サービス向上を所属部署においても実施する。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
<p style="text-align: center; color: red;">なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

